

地質ニュース

昭和 49 年 12 月

第 244 号

1974

解 説	アジア極東地質構造図について(その3) ～第2回アジア極東地質構造図編集会議 と地質構造図編集要領～……………広 川 治…1
	わが日本構造論 群島の基盤の褶曲について③……………別 所 文 吉…10
トピックス	石油産業発祥地記念公園と石油記念館 ～良寛の出雲崎町と石油～……………福 田 理…22
資 料	世界の層状硫化物鉱床(その3) ～アパラチャ造山帯の塊状硫化物鉱床～……………兼 平 慶一郎・佐 藤 壯 郎…30
海外事情	メキシコの地質と鉱物資源 ～メキシコの地形と地質～……………竹 田 英 夫…44
	地 学 と 切 手……………P. Q. …43
	地 質 ニ ュ ー ス 総 目 次 (No. 233～No. 244) 1974年 ……57

編 集 地 質 調 査 所

表 紙 の 写 真

漣 痕 (Ripple marks)

はるかに朝鮮半島カミアガクの山々がのぞまれる対馬の西海岸は その景色が素晴らしいことシシミで近年有名になった。漣痕は 堆積構造の一種で砂岩の上面によく観察される現象で 写真は長崎県上県郡上鹿町鹿見港入口の東岸にみられ その地層は対州層群(古第三紀)である。

漣痕はある一定の強さをもつ波浪 水流および気流の作用により形成される。一般に營力の違いにより 水流漣痕 波漣痕 風成漣痕 干涉漣痕の4つに分けられる。水流漣痕はさらに線状および舌状漣痕などに区分される。

写真は舌状漣痕であり 現在でも同様なものが水路の水底などでしばしば観察される。この写真の舌状漣痕が示す古流向は斜右上方から左下方に向かって流れたことを示す。

漣痕はフルート・キャストや斜層理などの堆積構造の研究と同様に 古地理復元の一手段として 盛んに研究調査が行なわれるようになった。

(長浜春夫)

発 行 株 式 会 社 実 業 公 報 社